

## 2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム花々館  
 作成日 令和3年5月15日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍ではあるが事業所事態が地域の一員として日常的交流やかかわりが薄い	地域にGHへの関心を持って頂き、仲間として身近な存在を感じてもらう。	GHの様子がわかる便りの配布、お互いの行事への参加、防災訓練時の協力（訓練への参加依頼）依頼。	お便りの配布については3か月以内。その他についてはコロナ終息が必要。
2	5	前回の介護保険改正にともない、身体拘束正常化のための指針等の書類が不備で改善が必要。	必要書類が適切に使用できるように、介護保険の改正や状況に応じて改正できる。	適切な身体拘束適正化等の書類を見直し、介護保険改正にも有効な書類の作成。	4月に事業所として検討し、5月にGH間の再検討会を計画中
3	1	理念の掲示はあるが、施設の顔としての外部者へのアピールが出来ていない（思いが伝わらない）。	理念が職員のみならず、家族や地域の方々に花々館のイメージとして定着する。	掲示改善。職員の内容理解が深まるように毎回議題に入れる。皆様にも周知できるようにお便りにも掲載。	職員については6月スタッフ会議より開始。お便りについては発行時。
4	3	運営会議議事録を置いてあるが、ご家族や外部の方に状況報告等の周知、ご理解や協力を繋がっていない。	運営推進会議の目的や役割への理解が深まる。花々館への関心が深まり、質の向上に向けた協力が得られる。	議事録の内容を知って頂くために、見やすい所への配置、ダイジェスト版をお便り等へ記載。	配置については達成。ダイジェスト版等については発行時。
5	6	ご家族やその他かかわって下さる方々がGHの運営に関して意見や要望が反映しやすい場面作りに乏しい。	家族同士や家族とGH、事業所と意見交換や要望が出来る。	家族交流会や地域、家族の参加できる行事の開催。お便りの活用（質問コーナーの作成）個別相談	交流会や行事の参加はコロナ終息が必要。お便りは発行時。個別相談は随時。
6	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援が明確化されていない。	重度化や看取り、終末期等の現時点での再確認。ご家族やキーパーソン、本人の意向を踏まえた人生会議の話し合いが出来る。	現状に適した重度化や看取り、終末期等の方針の改善。個別相談時や面会、遠方の方については電話や手紙での連絡、確認を行う。	4月に事業所として検討、5月にGH間の再検討会を検討中。確認については半年をめどに行う。

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。